

# 東北楽天ゴールデンイーグルスの経済波及効果について

## 1 概要

2023 シーズン終了による観客数の確定を受け、アンケート調査<sup>※1</sup>や楽天野球団からのヒアリングを基に、東北楽天ゴールデンイーグルス一軍ホームゲームの開催が宮城県内にもたらした経済波及効果<sup>※2</sup>を推計した。

推計に当たっては、観客動員実績のほか、県が行ったアンケート調査結果から観客一人当たりの消費額を算出し、宮城県経済波及効果分析ツール（観光消費分析）を用いて試算した。

この結果、ホームゲーム開催による観客の入場料、交通費、飲食費やグッズ購入費などに伴う直接効果が約 120 億円、直接効果から生じる各産業への波及効果（1次、2次）が約 57 億円、合わせて**約 178 億円の経済波及効果**と推計した。

なお、レギュラーシーズンで比較すると、前回推計を行ったコロナ前である 2019 シーズンより約 59 億円の減少となった。これは、新型コロナウイルス感染症により減少した観客動員数が未だ回復していないことが大きな要因と考えられる。

- ※1 令和 5 年 9 月 23 日（土）に楽天モバイルパーク宮城で開催された北海道日本ハムファイターズ戦の来場者のうち、イーグルスチケット（E チケ）からチケットを購入した方に対してアンケートを実施し、観客一人当たりの交通費、飲食費、居住地等を調査。有効回答は 1,275 件、全 3,193 人分のデータを収集。
- ※2 経済波及効果については、ゲーム開催による観客の消費（直接効果）に加え、飲食やグッズなどの原材料の供給を通じて他の産業の生産にも波及する第一次波及効果、また、直接効果及び第一次波及効果によって生み出された雇用者所得が消費に回ることにより、さらに生産を誘発する第二次波及効果を合計したものとして算出。  
また、こうした経済波及効果により、誘発される雇用者数を推計。  
ただし、いずれも計算モデルに基づく推計値であることに注意が必要。

## 2 前提

### （1）観客数

楽天モバイルパーク宮城において開催された一軍のホームゲームの公式観客数  
1,292,028 人（試合数：69 試合 対象期間：4/4～10/10） ※楽天野球団調べ

(2) 観客一人当たりの県内消費額

区分		入場料等	交通費	飲食費	宿泊費	グッズ購入費	計
宿泊 旅行	県内在住 (24,683人)	2,680円	1,005円	2,937円	6,391円	1,449円	14,462円
	県外在住 (235,503人)	2,680円	4,306円	3,446円	8,881円	2,323円	21,636円
日帰 り 旅行	県内在住 (793,507人)	2,680円	495円	1,975円		902円	6,052円
	県外在住 (238,335人)	2,680円	2,173円	2,226円		2,005円	9,084円

- ・入場料等については楽天野球団調べ。その他は宮城県アンケート調査結果
- ・区分ごとの人数は、宮城県アンケート調査の回答者の割合から推計

3 推計結果

区 分		2023 シーズン	2019 シーズン	増減 (増減率)	要 因
前提 条件	試合数	69 試合	66 試合	3 試合 (4.5%)	○新型コロナウイルス感染症により減少した観客数が回復していない
	年間観客数	1,292,028 人	1,732,526 人	▲440,498 人 (-25.4%)	
	一試合平均観客数	18,725 人	26,250 人	▲7,525 人 (-28.7%)	
	観客一人当たりの 県内消費額 (日帰り客)	6,752 円	7,830 円	▲1,078 円 (-13.8%)	
経済波及効果 A+B		178 億円 〔一試合当たり〕 2.6 億円	237 億円 〔一試合当たり〕 3.6 億円	▲59 億円 (-24.9%)	
直接効果 A		120 億円	152 億円	▲32 億円 (-21.1%)	
1次・2次波及効果 B		57 億円	85 億円	▲28 億円 (-32.9%)	
誘発される雇用者数		1,901 人	2,388 人	▲487 人 (-20.4%)	

(参考) 経済波及効果の年次推移

区分		2023 シーズン	2020~22 コロナにより 実施せず	2019 シーズン	2018 シーズン	2017 シーズン	2016 シーズン	2015 シーズン	2014 シーズン	2013 シーズン
前提条件	試合数	69試合		66試合	69試合	66試合	67試合	66試合	67試合	67試合
	年間観客数	1,292,028人		1,732,526人	1,658,347人	1,669,709人	1,517,680人	1,413,517人	1,350,293人	1,184,981人
	一試合平均 観客数	18,725人		26,250人	24,034人	25,299人	22,652人	21,417人	20,153人	17,686人
	一人当たりの 消費額 (日帰り客)	6,752円		7,830円	7,378円	7,243円	7,467円	8,015円	9,060円	8,975円
観客消費 経済波及効果 A+B		178億円		237億円	217億円	225億円	213億円	206億円	212億円	187億円
	〔一試合当たり〕	2.6億円		3.6億円	3.1億円	3.4億円	3.2億円	3.1億円	3.2億円	2.8億円
	直接効果 A	120億円		152億円	138億円	139億円	129億円	127億円	132億円	115億円
	1次・2次 波及効果 B	57億円		85億円	79億円	86億円	84億円	79億円	80億円	72億円
	誘発される 雇用者数	1,901人		2,388人	2,169人	2,230人	2,006人	1,942人	1,997人	1,769人

区分		2013 CS	2013 日本シリーズ	2012 シーズン	2011 シーズン	2010 シーズン	2009 シーズン	2009 CS	2008 シーズン	2007 シーズン
前提条件	試合数	4試合	4試合	68試合	63試合	68試合	70試合	2試合	70試合	71試合
	年間観客数	97,089人	100,948人	1,102,688人	1,001,648人	1,067,334人	1,179,770人	42,691人	1,131,173人	1,123,657人
	一試合平均 観客数	24,272人	25,237人	16,216人	15,899人	15,696人	16,854人	21,346人	16,160人	15,826人
	一人当たりの 消費額 (日帰り客)	11,258円	14,095円	7,531円	7,069円	7,615円	7,277円	8,328円	6,302円	6,617円
観客消費 経済波及効果 A+B		18.9億円	24.4億円	145億円	124億円	138億円	155億円	6.5億円	125億円	129億円
	〔一試合当たり〕	4.7億円	6.1億円	2.1億円	2.0億円	2.0億円	2.2億円	3.25億円	1.8億円	1.8億円
	直接効果 A	11.7億円	15.0億円	89億円	76億円	86億円	93億円	3.9億円	75億円	78億円
	1次・2次 波及効果 B	7.2億円	9.4億円	56億円	48億円	52億円	62億円	2.6億円	50億円	51億円
	誘発される 雇用者数	183人	234人	1,392人	1,225人	1,363人	1,427人	60人	1,115人	1,174人

区分		2006 シーズン	2005 シーズン
前提条件	試合数	62試合	64試合
	年間観客数	905,820人	939,566人
	一試合平均 観客数	14,610人	14,681人
	一人当たりの 消費額 (日帰り客)	6,100円	6,911円
観客消費 経済波及効果 A+B		97億円	121億円
	〔一試合当たり〕	1.6億円	1.9億円
	直接効果 A	59億円	73億円
	1次・2次 波及効果 B	38億円	48億円
	誘発される 雇用者数	876人	1,129人